

平成 26 年度 第 2 回 新潟市北区郷土博物館協議会 会議概要

日 時： 平成 26 年 8 月 5 日（火） 13 時半 ～ 14 時半
会 場： 新潟市北区郷土博物館 集会室
出席委員： （会長）杉本耕一、（副会長）寺山知子、（委員）小黒 忠、月岡徳恵、
高橋久隆、上松鉄雄、島吾郎、伊藤裕美子、田村祐一
傍 聴 者： なし
事 務 局： （博物館）宮崎芳春館長、神田直子、塩原賢信、曾部珠世
（地域課）坂井靖彦課長
資 料： 当日配布 <資料 1 ><資料 2 >

会議概要

1 開会

司会（塩原主査）

ただいまから平成 26 年度第 2 回新潟市北区郷土博物館協議会を開催します。
本日は委員 10 名のうち、9 名が出席され、会議は成立しています。傍聴はありません。

2 あいさつ（協議会会長 杉本耕一）

暑い日が続いておりますが、幸いなことに涼しい環境で審議を進めることができます。
今回は、平成 26 年度第 2 回目の協議会です。みなさまから忌憚のないご意見をいただき、
新しい常設展示へのスムーズな移行のために、博物館に対してお力添えが出来ればと思っ
ています。よろしくお願い致します。

3 あいさつ（北区地域課長 坂井靖彦）

みなさまにおかれましては、ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。
本日は、平成 26 年度第 2 回目の博物館協議会です。この秋には現在の常設展示の撤収、そ
して改装工事へと、具体的に動きだします。北区の子どもたち、区民の拠り所となる博物
館にしたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

司会（塩原）

（議事開始） これより議事進行を杉本会長にお願い致します。

4 議事

（杉本会長） 早速、議事に入ります。

（1）新常設展示の構成と内容について

（宮崎館長） 新常設展示の構成案を、資料< 1 >「阿賀北の大地と人々の暮らし」に基
づいて説明。

前回、みなさまからご審議いただいたことをよく検討させていただきまして、テーマ
は「阿賀北の大地と人々の暮らし」とし、展示構成も資料の通りとしました。みなさまか

らご意見をいただいた上で、最終決定をしたいと思います。

(杉本会長) テーマと構成についてはいかがでしょうか。

(寺山副会長) よろしいと思います。

(会員) 異議なし。

(杉本会長) では、内容についてはいかがでしょうか。

(宮崎館長) 現実的な問題としては、最初のコーナー「潟と川と浜の恵み」における「砂丘の生産活動」についての実物資料が不足しています。

(杉本会長) 浜小屋は実際にあるのですか。

(宮崎館長) 太郎代浜にはありませんが、島見浜や太夫浜にはまだ残っています。しかし、道具は今、実際に使っているものばかりで、博物館に提供できるようなものはないわけです。実物の収集には至っていないのが現状です。

(杉本会長) 今、実物資料の収集に努めているという段階ですね。

(伊藤委員) 収集作業は、リニューアル後も、ずっと続けていかれるわけですが、改装を進めていくことをオープンにして、資料を募るという方法もよいのではないのでしょうか。

(宮崎館長) 資料を集めていくことは大変に重要なことです。専門的なルートで収集する方法と、広く区民から集めるという二つの方法で収集していかねばならないと思います。

(杉本会長) 構成と内容については、博物館の案で進めていくことでよろしいですか。

(委員) 異議なし。

(2) 展示室の内装、設備について

(宮崎館長) 資料<2>「常設展示リニューアル」に基づいて、具体的な工事内容と、グラフィック及び解説パネル類の種類等を説明。

(杉本会長) 例えば、「道具」を展示する場合、それらがどのように使われていたのか、ということがわかるような解説をつけてもらいたいですね。

(宮崎館長) 基本的なガイドブックを作成しますし、もちろん展示資料には解説をつけますが、文字にするだけでは実際のところわかりにくいので、展示を解説するボランティアを募集し、育成したいと考えています。

(月岡委員) 常設展示室の左半分にR壁面があり、ここに高級ブティックのような小さなショーウィンドウがあります。この小スペースに、民具などを展示するのはどうもそぐわないように思います。予算の関係もありましようが、郷土の民具を展示するということができれば、やはりこのR壁を撤去するのがよいのではないかと思うのです。

(宮崎館長) R壁はおっしゃるように展示においては、かなり制限されます。常設でカバーできない面はたくさんあるわけで、それは仕方がないとせざるを得ない。企画展で補っていくことになるだろうと考えています。

(杉本会長) R壁の撤去は、予算的にそれは無理だということでしたね。そうであれば、これを最大限に使いこなす方向でいくしかないわけですね。

(坂井課長) このリニューアルは、改修工事としての予算措置ではなく、あくまでも区づくり事業として行いますので、予算は1千万円を3年に分けて執行いたします。まずはこの事業を成功させ、問題点はその後に改善をはかっていきたいと考えています。

(3) リニューアルにかかわる日程について

(宮崎館長) 資料<3>「常設展示改装関係日程(平成26~28年度)」を説明。これは、あくまでも予定ですので、ずれが出てくるかと思いますがご了承ください。来年度末には、暫定的な形でオープンできるように展示替えを行い、翌年度には映像資料関係、グラフィックパネル関係など展示を充実させる作業を、そして最終年度には、ガイドブックやボランティア募集と研修といったことを行います。

(杉本会長) 来年度5月には、常設展示が新しくなっているということですね。各コーナーでの解説パネルやキャプションなどは、来年度、充実させていくということですね。

(4) その他

(寺山副会長) ボランティアの役割は具体的にどのようなものですか。

(宮崎館長) ガイドブックを一緒に作成してもらったところから始まり、博物館内の展示物の解説、また学校への出前講座もお願いしたいと考えています。もちろん、学校在学中に一度でも博物館に来てもらうということが目的で、そうした流れが定着すればよいと思っています。

(坂井課長) 行政の方でもそのバックアップを考えていきたいと思っています。

(田村委員) 中学校では、社会科の授業としてはないので、授業で博物館へ行くということはなかなか難しいことです。生徒たちに地域のくらしや歴史、あるいは博物館の活動に関心をもたせるためには、「総合学習」を有効に利用することだと思います。

(伊藤委員) 中学生ボランティアの体制づくりもできたらいいですね。

(杉本会長) 葛塚中学校では、毎年「街歩き」をやっています。この地域には他からの転入者が多いので、案外地域のことを知りません。こういうことを通して、熱心な人が増えてきました。

(寺山副会長) 松浜中学校は、地域のボランティアガイドを養成していて、実際に松浜の名所をまわることをやっています。

(上松委員) 実際、軌道に乗せるには時間がかかりました。生徒たちをそこにひきつけるための工夫も必要です。

(杉本会長) ほかに何かありますか。なければこれで議事を終了します。

司会（塩原主査）

委員のみなさまには、長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。終了予定時刻になりましたので、これで閉会させていただきます。本日は、お疲れさまでございました。